京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年

本紙定價 一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金 五號活字十七字詰一行一圓▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

條約改正の前途

明年七月乃至八月までに成立せしむべき改正條約は重に税權の回復を以て主眼と爲すものにして其他の各部分に就ても絶對に片務的負擔を避け純然たる對等の條約と爲さゞる可からず從て對手各國に於ても一言の下我が希望を容るゝ可しとは信じられざるを以て愈談判開始の曉には幾多の往復交渉を經ざる可からざるは勿論の事に屬すと雖も我が日本の列國に對する態度は飽くまで友誼を重んじ平和を希望するものなる以上大抵は豫定の期日内に改正完結を見るに至るべしと思惟す若し不幸にして交渉不進捗の結果又は其の他の都合により期日迄に條約成立に至らざる場合には一時無條約の姿となるも日本は直ちに假條約締結の手段を取るか或は他の條約國の例に照し務めて公平なる臨機の處置に出づべきは今より明言して憚らざる處なり無條約と云へば人或は直ちに勝手氣儘の行動を取りて差支なきものゝ如く感ずべきも今日國際上の禮として決して双方共に斯る亂暴なる行爲を爲し得べきものにあらず現に英佛間西獨間又は西伊間等に在りては通商航海に就て全く無條約なれども何等の紛爭をも醸すに至らず他の條約國と同一なる國交を重ねつゝありされば例へ一時は無條約となるも決して憂慮すべきにあらざれども日本は可成期限内に新條約を成立せしむるの希望を有し居れりと某當局者の談也

保險官營の計畫

郵便貯金局が附帶事業として小口保險を經營せる事は歐洲先進國にも其例ある事とて我遞信省に於ても故野村氏が遞信大臣たりし當時其調査に從事せし事ありしも爾來其儘となり居りしを今回同省部内に此議起り過般來極めて秘密に之が調査に從事し居れり其理由と動機は一方に於ては如何はしき保險會社の失敗より多大の不幸を被保險人に及したる弊を救ふは小口保險を政府に於て實行するの安全なるに勝かずとなす點にあり此事は農商務省内に於ても同一の意見あり例の勞働保險の如きは是非官營となさゞるべからずと主唱せるものある位にて同省も之に賛成すべしとの見込をつけ他の一方に於ては郵便貯金は銀行預金と同じく細民の餘資を蓄積利殖するに留まり不時の災厄に際せしむるを得ざるを以て茲に小口保險を經營して中産以下人民に安心立命を與ふるは兩々相俟つて多大の幸福を與ふるものなりとなし實行の方法如何に依つては左までの新規豫算を要する事にもあらざるを以て調査の進行に依つては本期の議會に提出せんものとて日夜其調査を急ぎつゝありといふ表面の理由は此の如しとし其裏面の内情としては政府は鐵道資金缺乏の結果頻りに郵便貯金の増加を計りつゝあるも是のみにては到底不足を免れざるを以て保險業に着目して先づ五百圓位を最高限とせる小口保險を起し全國郵便貯金局をして其事務を取扱はしめ之に依つて零碎の資金を吸收し其責任準備金に豫定の利子を附し鐵道資金に利用せんとするものにて此論は遞信部内に於て中々有力なれば本議會に提出するに至らずとするも必ず近き將來に於て貯金局の一大事業として社會に發表せらるゝ事となるべしといふ

米人の北滿企業

北滿にたける米人の企業は一として見るべきものなし隨て貿易も徴々として振はざる由なるが今その一實例を擧ぐれば東清鐵道各驛附屬驛にれいて米人を見ること殆んど無く哈爾賓にれいてすら僅々七名に過ぎず而もその七名も領事館員清國税關員等にて商人なし米國商品としては單に價格低廉なる穀類位のものに過ぎずと云ふ

露國墓地の回收

南滿洲に散在する戰死露兵の墓地は從來我國に於て之を管理整頓し相當の措置を取りつゝありしが此程に至り露國戰蹟保存委員會より我政府に對し之が回收を要請し且つ是迄我國にて同墓地の整理等に要せし費用の全部を辨償せんと提議し來りたる由にて我政府は直に之を承諾し是迄の費用は一切受取らざる旨回答したるより露國委員は非常に我政府の好意を感謝し實地調査の爲め同委員會よりドブルンラオフ少將を委員長として目下之が整理に着手したれば爾後同墓地は露國政府の管理に歸することゝなるべしと云ふ

清國海軍の勢力

極東老大國の覺醒として世界列强の注意を買ひつゝある清國の海軍復興熱は曩に載洵貝勒及び提督薩永沈氏の歐洲海軍視察となり更らに近く日米兩國海軍の實狀をも視察されんとし内には人材養成の爲めに各省海軍學校の擴張象山其他軍港の造設を計畫し外歐洲諸國に新艦の建造を注文する等國帑の豐かならざるにも關らず清國政府の海軍復興に腐心せる事は掩ふべからざる事實なるが翻つて現在に於ける同國海軍の勢力を見るに軍艦の隻數としては實に六十八隻（外に廣東艦隊に屬する小型水雷艇八隻南洋艦隊に屬するもの同上十四隻あり）多數を有すと雖も其艦型は最近本邦川崎造船所に於て建造せる湖北艦隊の楚泰以下六隻（各排水量七百五十噸）を除きては何れも頗ぶる舊式に屬し其噸數に於ても海圻號の四千三百噸海琛（巡洋）南琛（同上）南瑞（同上）鏡清（同上）海容（同上）海籌（同上）以上六隻のみなりと

一度召し上ると其味を忘れられぬは ミュンヘンビール

●群山管内殖民狀況

群山理事廳管内に於ける本邦人の數は戶數二千七百十四戶人口八千九百八人にして外國人は僅かに歐米宣敎師二十戶四十三人清國人百四十六戶四百九十九人あるのみ而して群山は人口最も多く十年以前の一寒村は今や戶數九百五十七戶人口三千五百八十五人を有する小都會となり昔日の池潭沼澤は變じて繁華なる市街となれり群山に尋で人口多き地は全州、公州、江景にして全州の一千八公州の八百人江景の六百餘人の本邦人居住し其他管内到る處殆ど本邦人の居住せざるなき狀態なり今是等各地に於ける既往十年間の本邦人移住增加率を示せば約二十倍强にして群山同港の始年は僅かに二百を出でざりしなり而して其最も膨脹の著しかりしは明治三十九年統監府設置以後にして日本の韓國に於ける保護權の擴張に基くものなり若し夫れ今後政治、敎育、宗敎、衛生及農商工業の各種機關備はり全州平野に於ける水利組合の事業完成し湖南鐵道敷設の曉に到らば同方面に於ける人口の增加は蓋し著しきものあらんと

講談

大岡政談 越後傳吉 第四十四回

旭堂南陵講

中村屋與兵衞翌日は駕籠で娌のれせんを連れまして甚右衞門の方にやつて來る、傳吉は家へ戻つて萬事後は中村屋に賴む街道一の閻魔與兵衞が賀田村へ乘込んで甚右衞門三右衞門甚之丞此邊の連中とチャンと打合せをした、何しろ平生から憎まれ切つて居る名主の庄左衞門悴庄藏、皆小旦那のためならやれッといふことになりましたサア翌日だ、田舍ではよく大振舞といふことをやります、田舍の大振舞と來ると、嘸も來い餓鬼も來いと皆揃つて來る、併しその代りに食物は皆村方の者が寄てしてくれる、この邊では不味つても宜いから澤山なくちやア不可、もう村の若い者が十四五名も揃つて、傳吉から金を預りまして賀田町に魚を買出しに行くソレ青物だと朝から正午までといふものは村の連中が總出、男女入亂れて食物の拵らへ 甲『又平 又『あんだい 甲『鰹節を削だか 又『削いただ 甲『削いたら拵ふことはねへやそいつを煮くんだ 又『ヨシ、グッ〳〵煮出した 甲『煮出したらのう、その汁入用だから此所へ持て來るだい 又『汁う何うするだ 甲『汁が要るだい 又『鰹節煮出したから汁なんどはねへせ 甲『馬鹿野郎め汁がねへ、鰹節があるかい 又『釜へ入れといたわい 甲『それは出殼だ 又『アヽ煮出したあの何かい汚れた水かい 甲『ナニ水だや…… 又『あんなものは拵はねへから捨てゝしまつたい 甲『馬鹿野郎あれを食ふのだ、知らねえか、サア食物拵へを知らない連中がするんですから大騷ぎ、美味も不味もあつたものぢやアございません、漸うの中に煮染を拵へ上げた、扨座敷へ座る連中は村で有名い者ばつかりで、始づれ寺の坊さん、神主さん、百姓代五人組、イヤ年寄役なんぞ、他の連中はついふと百姓屋の裏畑で、カン〳〵頭から照つけられ而を燒き固めてある人間だから、暑いぐらゐは平氣なもの、莚をドン〳〵敷いてその莚の上にズーッと皆列んで居りますそこへ若い奴がドン〳〵酒の燗をして持つて來る、魚は大きな器に盛上げたのを勝手に食つて勝手に飲む飯は皆握飯にして來つて來る、宛然火事場見たやうな酒宴でございます、そいつが醉拂らつて來ると肥桶の尻を叩いて甚句を唄ひ出す座敷へ坐つてる奴が喧しいのは席順です百姓は斯ういふ所へ來ると金滿家と貧乏の差別がない何でも村に古く居る者が上座に坐ります、食ふや食はずの百姓でも古く居る奴は威張つてる、斯ういふときに席順を爭ひます 甲『コレれ前方何うしたい、乃公がハア一番上席に坐らねならん乃公が坐るんだい乃公が家には權りながら右大將賴朝公から貰つた飯椀があるだ 乙『馬鹿吐けこの野郎、乃公がとこには太閤樣が矢矧の橋で乞食して御座つた飯桶があるだ 丙『乃公が方には蹴勝五郎の車があるだ 丁『れ前等何いふだい、乃公が方には親鸞上人の灰吹があるだ』下らねへ事をいひ出して來る、そんなことをいつて席順を爭ふものです、一同ズラリと並んで了ふた、サアこれから酒が始まらうとするところへ名主の庄左衞門二字帶刀御免といふので、刀の拔やうも知らねえで大小刀打込み格好の惡い履附で、五十は過ぎて居りますがたは〳〵婆さんの色男、ヒョコ〳〵歩つて來ました 庄『ハイ今日は』たはや婆こいつを見ると笑を含んで 早『マア〳〵名主の旦那どんが入來つたかれ梅や、名主の旦那どんが入來つた 梅『アラ旦那どん、れ入來ですかいサアれ上んなさい』傳吉も傍に出まして 傳『ハイ、こりやア何うも庄左衞門どんでがすか、よう入來ました 庄『イヤ何うもこれは傳吉どん、エライれ芽出てへこんだな、エライ金儲けて御座つてその振舞ださうで、イヤマア芽出てへこんだ、れ前樣のやうな辛抱人は又と一人はがあせんぞハイ御免下さい」ズーッと奥へ通る、今まで傳吉の四邊へ居列んで居た連中が名主を見ると一同『イヤれ名主樣入來っしやいましたか」ズッと正面へ居てピッリと座り帶劔を傍はらへ置いて庄左衞門 庄『アゝ皆の衆能く揃つたのう 一同『ハイ、今日はマア此方の小旦那のれ芽出てへこんだから揃ふて來ました 庄『アゝよく揃ふて入來つた、斯ういふ芽出てへこんだから、酒は皆御馳走になるが宜い……何うもれ前方といふものは何か村の事に就て入用があるから寄合ふて相談のう打たうと云つても、なか〳〵寄つて呉れねへが、無錢で酒を飲んだり食つたりすることはよう寄らつしやるのう」といはれて一同顏と顏とを見合せました。

名譽銀牌受領 キリンビール

●諸公債諸株券 現物賣買、迅速確實に御取扱可申候 兼業 既製洋服御小賣 諸官衙御用達 京城本町三丁目 大坂野村德七代理店 田中友吉商店 電話九九三番 發電略（タ）

販賣員を募集す
米國シンガー裁縫機械會社
京城支店
西小門通り（電話一五七五）

一鴨綠江松材現木
長サ八尺五寸以上二間半
一尺五寸角以上二尺迄
右木材多數所有致し居候に付特別安價に賣却仕候間御望の方は御來談被下度願上候
京城旭町三丁目（電話五六八番）

建築業 柴田芝六
表具部開業
襖額屏風天井壁張及表裝一切並書畫の需用に應す
旭町三丁目三日月湯隣
柴田表具部
主任 網島久雄 眞光小太郎
（電話五六八）

京城曙町（電話一二八七番）
統監府御用 宮内府御用

印章彫刻 ゴム印彫刻
京城本町四丁目
赤帽子號印舖
電話九三番
諸官衙御用達
奥野岩太郎

御待合 紅葉
南大門通三丁目光宣門側
電話一三八二番

大營養新藥
人體の肥料
牛乳の數倍

賣捌は全國各藥店にあり
本舖 大阪道修町 藥劑師 小西久兵衛

暑中御見舞品各種品揃
歐米雜貨 洋酒 食料品 洋煙草類 金銀屬 美術品 直輸入商
京城本町二丁目 辻屋
本店電話一四八 支店電話二六八 韓國振替口座八七

東京電報

▲交際用語改正

渡邊宮相河村次官以下勅任官各課長は本日會議を開き外國との交際に關する用語改正に就き協議する所あり(十日)

▲英皇と日英博

在倫敦和田事務總長より左の電報ありたり 英國皇帝皇后兩陛下は皇子アルバード、アーサー親王殿下御同伴御微行にて博覽會に行幸事務官審査委員に對し優渥なる御言葉あり日本部の各餘興部御覽の際各出品人に謁を賜ひ日本音樂にて英國々歌を吹奏したるに御機嫌麗はしく還幸あらせられたり御遊覽の際東京市出品の二代將軍御靈屋の模型を陛下に奉呈方奏上せられたるに御嘉納あらせられ尙山林局出品の書院をアーサー親王殿下に献上したるに是れ亦御嘉納あらせられたり

▲本邦製茶不評

本邦製茶の粗製濫造近來殊に著しく米國行製茶中には腐茶を混入し機械によりて著色し甚しきに至りては挽茶中に桑葉を混せるものさへあり十分の取締を爲すにあらざれば遂に輸出杜絕するに至るべしとの電報其筋に到達せり(同上)

伯林電報

▲造船所大罷工

獨逸ハンブルグ造船所に於て俸給問題の爲め勞働者の同盟大罷工起れり(九日)

▲獨皇帝御避暑

獨逸皇帝皇后兩陛下にはホーンツクフロルンに赴かせられ其後カッセル附近のウイルヘルム離宮に避暑せらる

北京電報

▲日貨排斥眞相

北京に於ける日貨排斥は排日留學生の企てたるものにして先般の日露協約に附帶せる密約は淸國の實權を危ふするものと信じ排貨の檄文を配布し居れるが排貨熱鎭靜の今日なれば大事に至らざるべし(九日)

▲獨公使交迭說

北京駐剳獨逸公使交迭すべしとの說あるが未だ信じ難し(同上)

雜報

私立學校に就て (學部當局者の談)

學部當局の某氏は韓國私立學校に就て語て曰く元來私立學校設立の動機は所謂政治的臭味を彩色せらるゝものと宗敎的傳導の具に供せらるゝものと孔孟の敎義を遵守せる儒學派の三派に區別する事を得べし政治的意味に於ける學校は第一次の日韓協約後一知半解の僞慷慨者流が所謂韓國の現狀に憤起する所あり國權回復の迷夢に驅られて設立經營せるものにして敎育の方法は敎科書によるものより寧ろ慷慨的口調を以てせる講話文章及び唱歌兵式体操等の眞似事をして餘憤を漏し危險思想の培養に努むるものなるより此等の學校に就ては所在に取締を加へたるより萎靡して今は殆んど形影微かなるも宗敎的臭味の學校は耶蘇敎傳導師によりて經營せらるゝものと天道敎の僧侶によりて經營せらるゝものとの二種あり前者は別段の弊害を認めざるも後者は名を宗敎に藉りて排日的敎說煽動の行動あるより此等に就ては目下特別注意の下にあり儒學派に於ては舊時我國の寺小屋式にして儒生等が敎鞭を執り孔孟の經義を講ずるものなるが此等は韓國の子弟が新智識を呼吸せんとの要望日に急なるより漸次勢力を失しつゝあるが是れに反して宗敎的學校は比較的基礎堅固にして中々の潛勢力を有せり云々

●露領出稼の韓國人

韓民の露領に出稼ぎするは多く元山城津を經由し年々一萬人以上の多數を算せり然るに爾來露國政府にては西比利亞方面の土木工事に淸韓人を使役せざる事となり隨て彼等に對しては普通一般の旅客同樣の取扱を爲し旅劵査閲料及彼等退去の際に於ける稅金賦課を爲す爲め近來非常の減數を示せり今年一月より六月に到る渡航者合計を見るに左の如し

	元山	城津	合計
一月	一五	六一	七六
二月	三	四八	五一
三月	三二	二七八	三一〇
四月	一二四	五五六	六八〇
五月	八八	四九八	五八六
六月	九	六五	七四
計	二七一	一、五〇六	一、七七七
平均	四五	二五一	二九六

今之を昨年の同期間に比すれば如左
平均元山六七城津四一一合計四七八

にして約七割減なり尙ほ無旅劵渡航者に對しては露國の取締嚴重を極め屢次所報の如く續々還送せられつゝあれば絕無と見て可なり更に六月に入りて著しく減少せるは韓國政府取締規則の勵行によるものなり

●群山地方宗敎狀態

群山理事廳管內に於ける居留民の多くは佛敎徒にして神道及び基督敎徒は甚だ尠し目下本邦人設立の寺院敎會布敎師及信徒の數を擧ぐれば神道に於ては布敎師二、信徒三百四十八、佛敎に在ては寺院五、信徒一千百十六人基督敎徒に於ては日本傳道敎會に屬する敎會一、布敎師一、信徒三十人にして歐米宣敎師の傳道する說敎所五十九、布敎師二十一、信徒一萬一千三百五十四人あり而して日本人の布敎は日本人に止まり未だ韓國人民に及ばず之に反し基督敎は群山、全州、公州、江景等の各樞要地に敎會を設立し宣敎師は專ら韓人布敎に從事し其勢力侮るべからざるものあり又本邦居留民間の同信徒は近時日本基督敎傳道局より牧師一名を傭聘し且つ時々本局員の派遣を求めて講演會を開催する等盛んに活動を試みるも之に歸依するもの少しと云ふ

●韓留學生と監督者

韓國留學生監督者は素より學部にて任命したる韓人なるも東京に於ける總ての事情に通せざる爲め學部大臣は我が文部省普通學務局長松林茂助氏に監督者の指導監督を囑託せるが故に留學生等が若し不穩行動ありたる場合には松村囑託が臨機に之を處置して學部に報告し來る事となり居れるも亦學部は時々監督者に對し訓示を爲して學生等を間接戒諭すること屢次なりと雖も彼等の中にて少なくも不穩の行動を爲さんとするの徒は必ず監督者の身邊に近寄らざる爲め甚だ迷惑する次第なり云々と某當局者は語れり

●停車場設置の競爭

忠南江景日本人會長同評議員同議長等は停車場設置運動の爲め入京中のところ龍山に到り太田建築所長及大屋局長並に古城技師の意向を確めたるより統監に面會するの要無しとて右運動者は大に安堵し居れるが更に黃山側の成功するを見るに忍びずとて運動者を派して謂く黃山は江景に比し土地高く埋立等の大工事無く經費の點に於て多少の相違あるとなれば是非黃山に停車場を新設されたしと其筋々に運動中なりと云ふ

●傳染病室應急修繕

京城民團所管の靑坡傳染病院は漢城衞生會に引繼ぎ以て衞生事務の統一を計る事に決定し居れり然るに同會所屬の病室は今尙ほ修築中にて十一月に到らざれば落成せず斯くては一朝傳染病患者あるも之が收容に差閊ゆるを以て古城民長は十日同會に交涉し夫迄の間は現民團病院を充用する談に決したり而して同病室に對し至急相當の修繕を加ふる筈なりと云ふ

●淸州慈惠院の情況

開院以來追日盛況に趣き老幼男女を問はず相助け相伴ひ數十里の道を遠しとせずして來診を請ふ者續々絕へず先月中新患者千〇四十一人內韓人八百十七日人二百廿四人延人員としては一日平均百八十四人なりしが當月は引續く天候不良と河川氾濫交通杜絕の他挿秧季に會し遠來患者は頓に其數を減じたり

●平壤給水事件落着

平壤給水に就ては從來二百三十餘名の給水夫ありて市內に供給し居りしが今回或る二三の一手請負に付したるより彼等は非常に激昂して當局者に迫り斯くては生活の途絕ゆべしとて一時は不穩の形勢見へしことは既報の通りなるが當局の勸誘と請負者より彼等の權利を七千餘圓に買收したるとにより無事落着を告げし由なり

外人は吾人を卑視するか

殆ど總ての爭ひは誤解から起る、當國の基督敎徒問題の如きも誤解に基づくことが多いやうである、先日の『京城日々新聞』に出て居る、京城近信中に、在韓の日本人が外國人に卑視せらるゝことを述べた一節があるが、其一例として筆者は左の如く述べて居る

『曾て平壤の宣敎師等の創立にかゝる慈惠病院を訪ひ、其年報を見し人の語る所によれば、一日本人が韓國の病める婦人を伴ひ來りて治療を依賴しつゝ若干の金を寄附し去れり、而して其日本人と韓國婦人とは相識の間に非ず、偶然出會して其不幸に同情せし者にて、之れぞ誠の保護國の國民として賞讃すべき行爲たり、日本人の中にも又斯る篤志家ありとの意味を右年報中に特筆大書せしを見たりと、日本人の中にも又斯かる篤志家ありとの語如何に吾人を辱かしむるものぞ』

之に據れば右年報の筆者は如何にも吾人を侮辱したといはねばならぬ、余は偶然其年報を手に入ることを得たれば右の如き記事ありやと調べて見たところ、あることはあるが、其記事は決して吾人を侮辱したものでないのみか、却て大に吾人を賞讃したものである、其正しき譯を左に揭げる

『一人の日本人が一人の韓婦人を病院へ伴れて來た、其婦人は脚に重ひ病氣を持つて居たので、其脚は其後切斷された婦人は貧乏で賴なき者であつたが日本人は其病院の費用を助ける爲めに六圓を婦人に與へた、これは日本人が韓國人を如何に待遇しつゝあるかを示す一例であるが、斯の如き待遇を日本人は韓國人に與へて居るに係はらず世間では餘り之を言ひ傳へぬ、余は之を報ずるを愉快とする者である、其日本人は醫師で、韓婦人は信者であり、金の贈與は誠心より出たものである』

見るべし、少しも吾人を侮辱した點はない其年報を見たといふ人は恐らく熟讀せずして彼の如き解釋を下したものと思はれる、瑣事ながらかゝる誤解も度重なれば相互の感情を害するものである、愼まねばならぬ事だ、(也奕生)

●本部經伺警察事務

元理事廳警察に於て執行し來れる警察事務中限地開業醫、瓦斯電氣に關する事業、藥種業、銃砲火藥、燐寸、馬車營業の許否事項は各道警察部長より總監部へ經伺して處理する事となれり

●平和協會總會開催

平和協會は去る八日其本部に總會を開き近頃新聞紙上に於て同會に關する記事散見するを苦慮し之が取消を決議し更に會の維持策等を協議し之に關する經費收入の方法は幹部に一任するに決して散會せりと

●官吏附托貨物減退

統監府官吏附托貨物輸入非難の聲一度傳へられし以來同吏員の戒心一方ならず今や自己需用以內の外從前の弊風を絕ち夫以來は府官吏名の輸入貨物は著しく減少するに至れりと云ふ

●憲兵出張所の新設

京城憲兵第二分隊にては今回北延禧宮弘濟院、造紙里、水色、一山里の五箇所に憲兵出張所を新設して憲兵及び補助員を配置す

●政友會內部の內訌

政友會總裁金宗漢は平和協會に加入し其幹部員となりて同會の爲めに努力し政友會を疎外するの傾向あるより高義駿等非常に激昂し目下紛擾を極め居り

●皇族の養蠶好成績

韓國皇族、紳縉の飼育する夏蠶は此程好成績を以て終りたるが一兩日中より秋蠶に着手すると云ふ

●兩新聞紙解停さる

去る六日發行停止を命ぜられたる朝鮮日々新聞及びソウルプレスの兩紙は十日解停せられたり

●喞筒ポンプの使用演習

京城憲兵第一分隊第二分隊にては十日より約十日間元警視廳々舍跡にてポンプ使用を演習すると云ふ

●朝鮮新聞發行停止

仁川にて發行の朝鮮新聞は十日京龍合併紀念號を發行し紙上を飾りたるに其記事中治安妨害の廉ありて發行停止を命ぜられたり

●鐵嶺丸追悼會開催

木浦在留の邦人官民は十日午後六時より鐵嶺丸遭難者の追悼會を開けり

●記者團の歡迎會

既報の如く九日午後七時半より壽町食道樂に於て內地新聞特派員川尻万朝、鵜崎每電、畑尾やまと、靑木中央子の歡迎會を開催したり席定まるや當番幹事橫尾時事子立つて歡迎の辭を述べ鵜崎每電來賓を代表して答辭をなし打寬ぎて献酬快談湧くが如く非常の盛會を極め午後十時半散會したり

●仁川港出入船舶

仁川港に於ける一昨九日の入港船は木浦丸一隻(上陸男六一女九)にして出港船も同船一隻(男六二女一二)のみなりと云ふ

●岩崎氏辭職歸朝

仁川官立實業學校長岩崎厚太郎氏は今回辭職し不日歸朝せらるべきより同地の官民は昨十日餞別會を開きたりと云ふ

慶尙北道產業 (續)

以上の各工業共に殆んど農家の副業たり次に水產物中鹽は浦項附近に產するも道內一部の需用に過ぎず金海地方其他外國鹽の移入は非常の多額に上る魚類は迎日灣の鰊、鰒、海草、鯖、鰆、鯧の大部は釜山を經て輸出せらる要するに本道より他へ移出或は外國へ輸出する主なるものは米及大豆にして次に其他の穀類、生牛、牛皮、煙草、蓆及魚類の一部等とし其他の產品は道內に於ける商取引の目的物にして交通運輸の關係或は時の相場に依り多少道外に移出の取引あり次に移入品を見るに其種類多樣にして擧て數ふべからざるも內國產に於ては明太魚、鹽、海草、鹽魚、乾魚等を主とし外國產に於ては各種綿織物、紡績糸、麻布、絹布、金屬、器具、石油、燐寸、縄、叺、紙卷煙草、砂糖等を始め各種の日用雜貨とす是等移出入貨物の道內に於ける取引は大少百十一の市場に行はるゝも道外と取引の行はるゝ主なる地は大邱金泉倭館慶山及浦項とす其他の市邑に於ても近接せる他道と移出入の取引あるも其數量少額に止まり今參考の爲め本道主要の產物の統計を擧ぐれば左の如し

農產類 種類	作付反別	收穫高
米	九六、六四〇町	九二五、九七〇石
麥	五〇、〇五〇町	七三六、七六六石
大豆	二六、四四六町	一八七、二四六石
小豆	一、四五一町	七、〇四二石
粟	八、九三六町	九六、五五〇石
綿花	六、一三七町	三三八、〇一二貫
大麻	八五八町	八一、二七四貫
煙草	七二二町	一八四、〇八八貫
荏胡麻	一九六町	一、九五三石

牧畜			
牛	七七、五一六頭	馬	二、二七九頭

工業			
織物	三一〇、二八四疋	莞蓆	四、四九四枚
製紙	二四七、四九六束	陶器	二六、五〇四個

●會議所の定款改正

京龍合併は京城商業會議所定款の改正を促し來り爲に同會委員池田長次郞、小川勝平、小林藤右衞門、深見淸、秋吉富太郎諸氏に山口會頭、山口書記長代理を加へ五日、六日、九日の三日に互り充分の協議を擬したる結果大体の成案を見るに至りしが其重なるもの(一)同會議所區域を京城民團所管範圍とせる事(二)從來の二十四役員を三十四名とする事(三)同五名特別議員を十名とする事及是に附帶せる諸種條項の改正なるが殊に特別議員を倍加せるは單に地域の擴大されしが爲のみならず英國商議會議の制定を酌み從來の商工上學術技藝に堪能なる人士を擇ぶの他各種商工業代表的人物を網羅一層所務振興を意味するものなるが改正案は目下理事者の手許に於て整理中に屬し追て總會開催の上報告手續に及ぶ筈なりと

●各地の米豆價格表

最近度支部に於て調査せる各地の米及大豆の價格は左の如し

地名	籾 圓	玄米 圓	大豆 圓
江景	三、四〇〇	七、七〇〇	七、五〇〇
群山	四、一〇〇	八、二〇〇	七、二五〇
木浦	四、七〇〇	八、七〇〇	六、五〇〇
馬山浦 日種	六、〇〇〇	一〇、二〇〇	七、六〇〇
馬山浦 韓種	五、〇〇〇	九、五〇〇	
密陽	四、五〇〇	八、二〇〇	七、三〇〇
海州	三、七〇〇	八、〇〇〇	七、五〇〇
鎭南浦	四、三〇〇	八、六〇〇	七、五〇〇
龍岩浦	四、五〇〇	一一、一〇〇	七、〇〇〇
平均	四、五〇〇	八、九二〇	七、二七〇

●魚市場問題の不調

既報の魚市場合同問題は互に權利を固執して讓らざる爲め遂に交涉不調に歸せん模樣あり之が爲めに日の丸市場に於ては斷然交涉を中止して他處に移設すべしと云へり一方水產會社は此交涉不調に當惑し山口氏等の重役最も苦慮を重ね目下調停の方法研究中なりと

●試驗前の京城文庫

本月下旬第二回普通文官試驗擧行發表さるゝや昨今の炎暑にも關はらず下準備の爲め京城文庫に脚を運ぶ者多く殊に茲一週間前よりは一段の盛況にて試驗問答集の如きは引張り凧の有樣なりと

●二顧問の御禮參內

去る八日中樞院顧問に親任せられたる元學相李載崐及元度相任善準の兩氏は九日午後二時十八分德壽宮に參內太皇帝に謁見仰付けられ今回親任の御禮を言上せり

●民會議員有權者數

京城民會議員有權者數は目下調査中なるが滿二年の有權者京城のみにて八千人を算し龍山に約二千人を示めせし此內より行衞不明及其他の事故にて資格を喪失せるものを控除する筈なるが斯くても尙は八千人を下らざるべしと

●閔宮內府大臣訪問

十日午前十一時閔宮內大臣は金秘書官を隨へ寺內統監を統監邸に訪問せり

●岡崎遠光氏東上

日韓瓦斯電氣會社總會は本月末例により東京に於て開催の筈にて同專務岡崎遠光氏は十一日南大門發東上の由なるが本期は前期配當に一分を加へ六分配當の豫定なりと

●樋口理事長入京

樋口採木公司理事長は九日夜南大門着列車にて入京せり

●中島博士の出發

中島農學博士九日午後十時四十分南大門發釜山に向ふ

●佐竹書記官東上

土地調査局書記官佐竹義準男は九日夜出發東上せり

●秋本理事官入京

鎭南浦理事廳理事官秋本豐之進氏九日入京山本旅館に投宿

●森松延吉氏出發

醫學士森松延吉氏は去る九日當地出發平壤に向へり

▲京城手形交換高▼

八月	金高	枚數
十日	九〇、八二二、七五(圓)	三四七

▲治外法權▼

內地の新聞曰く京城の新聞を見ても時局の事は一切判らなくなつたと、時局の事が京城の新聞でソレホド知りたいなら三年許り前の本紙を見たら良かろう▲世には意識なしに單に讀者の好奇心を滿足させる爲に目新しい記事を揭げんとする新聞紙が鮮らもある、併し良く考へて見玉へ時局問題は大切な政治關係の事でカノ首無し女の事件と同視すべきものではない▲ト云ふと傍から誰かが口を出して西洋に於ける言論自由の例を說くであろうが、西洋の事なら乍憚コッチが大手の物だ▲ツイ數日前自稱本邦駐在墺太利大使夫人が東海道の汽車中で鐵道規則違反の所爲をやつた、乘客に對する一視同仁の車掌は彼女に注意を與へた▲車掌の注意に反省すると思の外彼の女は大使夫人たるを笠に着て無法にも車掌に暴行を加へた、イヅレ此問題は何とか極まるであらうが上流外人中にもコンナ非文明な者があるのは困まつたものだ▲事は少し古いが寺內統監が南大門驛へ着された當日記者は下の如き出來事を同驛內で見受けた一外國人年齡は四十位、身體は小柄で頭にはヘルメット帽を被つて居た、此男ドウ云ふ譯か改札口から出でんとした、驛夫は丁寧に止めた、彼れは日本語を以て己れは領事だぞと高聲に云つゝ驛夫を突飛ばして改札口から出せた▲イクラ領事だからとて故意に鐵道規則を犯すとは不埒の事だ、況んや驛夫を突飛ばすなどの非紳士的動作を演ずるとは何の事だ、墺太利大使夫人と云ひ亦自ら領事と名乘る此男と云ひ各自本國の體面を傷けるものだ▲助役問題に關し民團議員中に京城派と龍山派とがあつて爭つて居るソウだが困まつたものだ、盃が濟んだ許りでコウ喧嘩するヨーでは前途が思やられる▲此頃の京城日報は本紙一昨年頃の社說を標題內容共に其儘連載して居る、本紙にとつては光榮の譯だが、日報子にとつてはドウか致て抗議をする譯ではないが一應おことはりして置く▲昨本欄內に在つた斯波神社局長は水野の誤りだ、茲に訂正する。

●北韓沿岸航路擴張

[illegible]の交通機關を具備せしむるに在ることゝ云ふまでもなく陸上に於ては已に工[illegible]を以て應急工事を施すことゝなりしが之に對して海路の方は是迄吉田田口兩[illegible]みつゝあれど右は何れも元山を起點とせるものにて沿岸地方開發の機運に向ひたる今日に於ては尙不足を免れざるが故に更に淸津を起點とする淸津雄基湖間の沿岸航路を開始せしめんとて咸北觀察道に於ては目下種々計畫中なり此の航路にして開通するに至らば沿岸貿易は至大の發達を見るに至るべく殊[illegible]大に增加すべしと云ふ

●慶北管內修築道路

慶北に於ては本年春季より管下の各郡守を督勵して道路の修理に着手したる[illegible]朝鮮里程なり
△軍威郡一、一四里△聞慶郡一六〇里△淸道郡一、二五〇里△慈仁郡四〇〇里△尙州郡八、一五〇里△禮安郡二八五里△[illegible]郡三〇〇里△榮川郡四、一五〇里△豐基郡九五〇里△[illegible]二、六五〇里△星州三、一五〇里△永川五、六七〇里△靑松二、五七〇里△漆谷八〇〇里△釜山一、一七五〇里△河陽九五〇里△大邱二、六〇里△高靈一、一〇〇里△比安二、六〇〇里△安東四、七五〇△新寧四、[illegible]〇里△仁同一、八七〇里△義興一、六五〇△[illegible]一、四三一里△順興二、六五〇△善山九七五里△盈德一、四五〇里△英陽四二、七〇里△延日九〇〇里△玄風二、三五〇△知禮一、八八〇里△義城四、七五〇里△開寧二、〇五〇里△眞寶四一八里△奉化六、〇〇〇里△長鬐八七〇里△計七、七〇〇里

●[illegible]木氏入京 韓銀平壤支店員の[illegible]兩氏は九日入京不知火旅館に投宿

●長野興寶氏入京 明治生命社員の同氏は九日入京天眞樓に投宿したり

●北韓沿岸航路擴張

の交通機關を具備せしむるに在ることゝ云ふ事でありて陸上に於ては[illegible]を以て急工事を施すことゝなりしが之に對して海路の方は是迄吉田田口兩みつゝあれ共右は何れも元山を起點とせるものにて沿岸地方商務の發達に向[illegible]不足を免れざるか故に更に清津を起點とする清津雄基湖頭の沿岸航路を開始せしめんとて咸北觀察道に於ては目下種々計畫中なり此の航路にして開通するに至らは沿岸貿易は至大の發達を見るに至るべく殊大に増加すべしと云ふ

●慶北管內修築道路

慶北に於ては本年春季より管下の各郡守を督勵して道路の修理に着手したるが其里程なり△咸威郡一、一四〇里△聞慶郡一六〇〇里△清道郡一、二五〇里△慈仁郡四〇〇里△高靈郡八、一五〇里△醴安郡二八五里△[illegible]郡三〇〇里△榮川郡四、一五〇里△豐基郡九五〇里△[illegible]二、六五〇里△星州三、一五〇里△永川五、六七〇里△義城二、五七〇里△漆谷八〇〇里△[illegible]州△安東四、七五〇△[illegible]四二〇里△仁同一、八七〇里△義興一、六五〇△尚宮一、四三一里△順興二、六五〇△善山九、七五里△盈德一、四五〇里△英陽四、二七〇里△延日九〇〇里△玄風、三五〇△知禮一、八八〇里△義城四、七五〇里△開寧二、〇五〇里△軍威四一八里△奉化六、〇〇〇里△長鬐八七〇里△計七、七〇〇里

●阿部韓銀次氏入京 韓銀平壤支店員の同氏は九日入京不知火旅館に投宿

●長野與資氏入京 明治生命社員の同氏は九日入京天眞樓に投宿したり

良人不品行矯正法

▽切に實行を奬めする

強ち當地の旦那樣斗りぢやないが此の毆方と云ふものは甚だ我儘のものでヤレ集會だヤレ何んだと仰云つては宅を空けになる夫れも全く歸りにならないと決つて居ればし早歸り其の他も嚴重に寢るべき時には寢られるが今夜は少し遲くなるよと斗りで何時頃にと歸りか見當が附かぬ從つてお先へ御免蒙つてと云ふ理由に行かぬ此の際萬一にも餘りに遲いと云ふので眠んでも居やうものなら大層な御不平で酒癖の好くない方なぞは紳士として有間敷如何がはしい事を成さる方さへある全體人間の勤めには程度と云ふものがある二時迄も三時迄も……夫れも偶の事でゞもあれば格別隔日若しくは毎日のことでは堪らぬ尤も夜更しなさる旦那樣も堪らぬのは同一であるが其の方のは多く好んで成さる事であるから甚だしき影響は身體に來ないのみならず翌朝でも眠いと云ふので何時迄も休みに成れるが特殊なのは別として普通一般の夫人方は却々左樣は行かぬ夫れ計りなら我慢もなるが亂醉せられた翌日なぞは多くは御病人になられる精神は亢奮する夫れ程の事でもないのに小供衆や女中に當り散らされる何か申し上げる飛沫は此方へも來る而して又夜に入ると晝の用を片付ける爲と號して又た何所へか出て行かれる勤人ならば上長の首尾が悪しからふ自身何か御經營の方ならば部下雇人等の監督其他の不行屆となる營業繁昌とは行かぬ其所で何うか此の御良人の不品行を矯める法は絕對にないものであらふかと云ふに決して左樣でない大日本催眠學會長小野福平先生の談に依るどそれは何でもないことである相だ先づ良人が睡眠かけられた時を見斗らうて「貴方れ眠なさい、れ眠りなさい」と幾度となく良人の耳の側で小聲で云ふのであります若し此の際半睡の時を見斗らふことが出來ず既に充分に眠られた際は手を以て其の背中か又は額を輕く擦つて少し醒ましてから例の「貴方れ眠りなさい」を小聲で幾度も繰り返すのであります左樣に致しますれば妻に眠らされたもの即ち催眠術にかゝつたものでありまして所謂催眠狀態になるのだ一旦催眠狀態になると妻の言ふ事は何でも信じて一々頭に浸み込んで夫れが殘つて居る翌朝目が覺めた後も其の思ふ通りに行ふやうになるのであるとの事だ一つ早速實行せられたい茲に一寸れ斷り申して置きたいのは此自分勝手のことに濫用せられぬことである、例を以て云へば「貴方藝妓を買ふ代りに私に三越で彼の丸帶を取つて下さいよチ、夫れからアノ金光堂でダイヤの指環を三本買て頂戴な」等の危險極まる暗示を與へない如にされたい、夫人方に此の御傳授をしたからには旦那樣たるもの決して寢心が好くあるまいが身から出た錆と諦められたい。

韓人夫の變死

▽二百貫目の下轢き

韓國東萊郡釜山鎭一洞生れ宋有信(三〇)及び同國咸昌郡沙下洞生れ鄭大賢(三七)の兩人は對州上縣郡佐須奈村大字佐須奈、埼玉縣北足立郡生れ梅澤作光の材木運搬に雇はれ居る者なるが去る一日も例の通り韓國大邱郡東外面崔用尹(三〇)と三人で八寸五分角六寸五分角八寸角長さ各々二間の縱二本をトロックに載せ同村字谷山より坂路を勢ひ込んで下だり午後一時頃同村字大地ケ原の山林內にて鉤懸つてトロツコは脫線しアナヤと叫ぶ間もなく宋、鄭兩名は車と共に高さ十四尺許りの崖より落ち無殘や宋は仰のけ樣に重量二百貫もある車と縱材に押し轢かれたれば堪ろう筈がなく肋骨碎け陰嚢裂け碧血を吐いて即死し鄭も同時に左膝關節下部と在手の上胸部とに重傷を負ふて打倒れぬ、崔の急報に大騷ぎとなり其の筋の檢視終りて宋の屍體は雇主梅澤に引き渡し鄭は目下治療中なるが生命には別條なからんと

申永西逮捕さる

▽暴徒に彈丸を供給す

一昨九日午後五時汶山浦分遣所の搜索隊は汶山浦下洞に於て李鎭龍の部將申永西を逮捕したり同人は明治四十年八月の事變以來賊魁李鎭龍の部下となりて都糧令將と稱し兵器彈丸の密輸入を爲しつゝありたる者にて大なる漁船一隻を所有し魚類買入に行くと稱して蹤跡を晦し仁川方面より武器を買入れて歸れば海州鳳山平山間を出沒して賊徒に供給し又時としては岑城鷄井驛より滊車にて京城へ往來すること屢ありし由にて汶山浦分遣所の搜索隊は彼が約二ケ月前に同地へ入込みたる形跡ありてより非常に苦心して搜索中なりしが一昨九日同地に於ける彼の妾宅に於て逮捕したりと

何人の責任か

▽逸荷者を嚴戒せよ

八日午前十一時門司驛に於て大邱驛出鹿兒島行手荷物積込の際俄然爆發し驛夫一名負傷せしを以て取調べたるに同荷物中に雷管十八個を他品と混入しあるを發見したり仍て旅客は門司驛より告發に及べりといふ稅關官吏たるもの金口煙草や人參計りに目を着けず危險物をもチト何うかしたら宜からふ

太々しき姦婦姦夫

▽他人に向つて姦通呼はり

本年二月上旬彼の民團醜吏末廣幸作外關係者一同と共に檢擧せられたるも幸に豫審免訴となり放免されたる東某と云ふは烏渡垢拔けのした好男子にて其の上多情男とて末廣の留守宅に至り同人の妻つやに向ひ幸作さんから傳言がありましたとて今後辯護人には誰れ證人には誰れを出せと云ふ調子にて傳言をだしに毎日出掛け居たるが其の目的はつやを取り付んとの惡計なれば段々心安くなるやつやも生れ付いての浮氣者とて何方から手を出したか遂に不義の契りを結び人目を忍んで乳繰り合ひ居りしが末廣の郷里より親族の者渡韓し一應家族を引き纒め歸國せしめたるにぞ東は聊か見當が違つた處で以前からの馴染女新町遊廓大桝屋の銀鳥と呼ぶ高標女郎を身受けする〳〵云ふ內に例の疑獄事件起り時節柄身受けのみの字も出來ず一時見合せ放免後に其筋の注意嚴しき爲め意の如く會ふ事も出來ず銀鳥も東が放免になるやふにと每朝外の友人連は白川夜舟に眠り居る內より稻荷さんに祈願を籠め居りし事とて東の放免せられしとの新聞を見て天に飛ん許り喜び居りたることとてつやが鄕里に引き越したる後東は例の大桝屋に登樓し久し振りに銀鳥との寢物語に其筋の注意嚴重なれば是迄の如く遊びに來る譯には行かぬと云ひしより銀鳥の方より一週に三回位東の下宿なる南大門外紅葉館に出張して互に樂しみ居り然るに一方つやは辨護人を頼む爲めと稱し再び渡韓し東と夫婦氣取りに同棲し居りしに或日例の銀鳥はこんな事とは夢露知らず紅葉館に來て見れば右の始末一時騷動を惹起せしも東は程よく銀鳥を欺し歸らしめたりとの事は當時聞き込み居たるも他人の名譽に關する事とて見合せたるに近來に至り彼の姦夫姦婦は公然姦通を自認したる事實と云ふは彼等が紅葉館に對し三百圓以上の下宿代不支拂となり居るより此頃宿主は嚴重に催促するも一向に支拂ふ模樣なきのみか不埒にも姦夫姦婦は共謀せしと見え二三日前の事東は宿主に對し重大なる問題あり下宿代も支拂はねばならぬが先決問題は當家の張場不奈津君と妻つやとが姦通し居る事を認めたれば甚だ不都合なり先づ此の件を解決して貰ひし上下宿代を支拂ふべしと云ふより宿主は大いに驚き早速不奈津を取調べし上解決す可しと答へ不奈津に對しだしぬけに貴樣は俺れは勿論紅葉館に泥を塗つたと怒鳴り飛したるに不奈津は主人は氣が狂ひはしませぬかと云ふより事情を話したるに彼れは大に憤慨してつや子を傍に呼び主人の目前にて如斯事全然ないと云ひしにつやはニコ〳〵笑ひながら貴計は昨夜私の手を握つたじやありませんかと云ひしに手を握た位で姦通とは餘りではないかと極め付け結局內輪で濟みしが三百圓の宿料踏倒しの惡策から姦通を公認するとは馬鹿な奴かな

▲酒癖しらべ▼(二)

仁川 岩崎民長

勞頭に仁川を揭げた序に仁川の岩崎民長を紹介しよう、少々御不服かは知らぬが老ひて益々壯なものである酒を呑んで居ない時でも氣焔萬丈今にも天下を反覆へすかと思はれる樣な議論を吐露て對手をへコマさずんば止まぬ勢ひであるから大概な議論家は旗を捲ひて逃げ出し、小心な奴に至つては膽を潰して終ふ、とは聊か誇張に過ぎるかも知れぬとして扨て、民長が命よりも好きな御酒をさも甘相にチビリ〳〵と飲りつゝ吹き上げる怪氣焔は又更に恐るべきものがある、斯る場合君の顏の相格は崩れ、頭からは湯氣が立つと云ふ騷ぎ、其れかと申して亂暴もせねば醉狂もせぬのである、まあ酒呑の癖としては上乘にして而して平凡なものであらう(仁川坊)

●女房を女郎にす 龍山坊東門外契十統四戸池昌信(三四)は人の娘を貰ひ娼妓になす目的を以て表面自己の妻を求るが如く言ひ做し本年五月中自己には妻あるにも係らず獨身者と詐り京城中部閔泳甲方居住崔誠高なる者に周旋を依頼し中部漢陽洞白云善方下女李姓女を妻にすると誘引承諾せしめ周旋人崔には禮金として金十八圓を支拂ひ同女を連れ來り娼妓營業を爲さしめたる事李姓女の親の知る所となり其筋に告訴せしより檢事局に送られしが一昨日京城地方裁判所に於て懲役二ケ年に處せらる

●チーハーの共謀者 香川縣高松市東濱町當時大和町一丁目井本仲藏(四二)は本年三月檢擧せられたるチーハーの胴元なる樋口甚兵衛外數人等の共犯としてチーハー僞造者なりしが行衛を晦し天網を免れ居りしが曩きに南部署長野刑事に逮捕せられ檢事局に送られしが昨十日京城裁判所に於て懲役二ケ月罰金二十圓に處せらる

●コーナ横着者奴 長崎縣生れの坂本作市(三〇)と云ふは一昨夜京城南大門より無切符にて仁川驛に下車し何喰はぬ顏にて改札口より出でんとする處を係員に發覺され仁川署に突き出る

●落した人拾つた人 仁川新町二丁目大藪市次(一五)は京町より自宅迄の間にて現金廿圓を遺失したる旨を仁川小學校敎員柴田勝次は學校下にて金二圓五十錢入の財布を拾得屆出づ

●仁川避病院患者數 仁川避病院に於ける現在入院患者數を聞くに行旅病者二名傳染病患者は一人もなしと

目と耳

▲浪花館 十一日廣八一座の代番組一御祝儀貨の入船(入登)一太功記夕顏棚(廣吉)一妹背山竹雀の段(越濱)一あこぎ浦平次住家の段(此重)一梅川忠兵衛新口村の段(此千代)一菅原四ツ目寺子屋の段(仙春)一白石噺揚屋の段(隅照)鐃山又助住家の段(越春)一三十三所壺阪寺の段(廣八)一大切忠臣藏五ツ目二ツ玉の段(總掛合)三味線(豐澤仙平)

▲歌舞伎座 は例の天下無敵日比野雷風一行の試合居合劍武術等あり入場料は十錢三十錢五十錢特等一圓の四種

▲壽座 十一日より曾我の家及義勇隊合同にて蓋を開ける同座は當興行に限り特別の大勉强にて木戸料なし平場行しだい一人前十五錢さしき一人前三十八錢なりと(第一番目)新派劇「當世青柳葉」幕なし十一場(第二番目)新喜劇「出世之鼻息」三幕

▲平民文壇▼

▲エービーシー君よ「官吏冗員淘汰」なる一文投寄せられたるは正に落掌せり掲載方は本名を通知せられざれば見合す(係)▲一官吏の投書で思ひ出したが京城にある小新聞屋が威張つて居るが裏面から見て試よ文無しの借金だらけ其所で紀念號や廣告の強請する聞かなんだら惡口を書く夫れが五月蠅から澁々金を遣る寄生虫と云へば此奴等のことだ迷惑するのは官吏や居留民なり捨て所もなければ外に行きては飯の食へぬ厄介者なり何うだ此投書を出す勇氣ありや否や(某役所一給仕)▲又的のない矢を放つ男が出て來た此所は藪だよ藪を睨んおや不可ないよ、廣告をセルと云ふ此れは雜貨屋が雜貨をセルと一般だ生存競爭の激しい世に活きて行ふと云ふのに鮟鱇が潮待ちする如只口を開けて落ち込む餌計り待つて居られるか、又出さねば惡口を書くなぞとはトラツもない事なるのみか官憲の取締が不充分だと云ふ意味になるぞ斯う云ふことは小供には判るまいから手數を掛けて說明した(係)▲此の頃の南大門通り一二丁目邊の夜は西瓜の南大門通りと云つて善い程だ(通行人)▲北米倉町の花の家はナカナカ盛だ(素見客)▲太平町の田舍家の何んと云ふ女だか名は知らぬが廿一二になる色の蒼白いのが門の處で叔母さんらしいの兩人を捉まへて堪へられぬ不平を漏らして居た曰くれ湯に行つても姉さん達五人なら五人の脊を流さねばならずさアー氣の毒なと思つて通り過きた(紅)▲僕は九日の夜各小料理店の前を通つて見たが通行人を引つ張つたり持ち物を取つたりする惡風は一洗されたが如だ但し素見客で格子へ捉まつて騷いでる連中は强制手段を取られたのは一二ある樣だが此れは好んで左樣されたい連中なのだから論外さ(への字)▲ト褒めると增長するよ(係)▲たらば又やつゝけるさ(小僧)▲薩摩汁の本家本元は墨西哥らしい同國では彼れをサンコチョと云ふ相だ(知つた振り)▲日比野の劍武なるものを見たが兎に角一種の淸涼劑として歡迎する男の見逃には見せて利益になる夫れに木戸錢も十錢からだから誰れにでも向く源氏節の武士道鼓吹と同一の論でないよ(一官吏)▲女振りはモウ掲載せぬのですか(一讀者)▲何う致しまして決して左樣の次第では御座いません少々都合があるから休載して居る次第です(其係)

●今日の運勢

八月十一日舊七月六日四綠赤口 戊申建 天赦日△一白 金屬の業務に吉紛爭違意起し易し其他平靜△二黑 已れを勞して人の益となり尙賣買貸借取引に錯誤生じ易し△三碧 轉居更改の事見合すべし親戚家庭の事煩累あり△四綠 衝突爭鬪多し遺失防ぐべし新事見合せの事△五黃 盜害及酒色の破れを戒しむ計算上紛紜あり△六白 新事及旅行見合せの事無心難題にあふあり△七赤 紛爭酒色の害を戒しむ新事及建築動土見合せの事△八白 妄言若くは迷惑を受けんとす盜害及衛生上留意すべし△九紫 利益あり但し證劵印章の故障を戒しむ(本町五丁目三一館判斷)

●天氣豫報（自十日午後六時 至十一日午後六時）

北東風晴

九日（華氏） 最高溫度 八七、一 最低溫度 六八、九

廣告

確實なる身元保證人ある 二十歲未滿 書生を募集す 京城旭町二丁目一四五理事廳脇より旭町三丁目へ通る中程 堤重四郎事務所

醫術開業廣告 內外科、小兒科 產婦人科、黴毒 其他一般患者の診療に應ず 午前宅診 午後往診……（但急患は此限にあらず） 壽町二丁目（食道樂の上隣） 得業 醫學士 池上要吉 池上醫院

眼科 日曜及祭日は午後二時迄 京城本町一丁目憲兵分遣所前 江頭眼科醫院（電話三十三番） 前漢城病院眼科部長 醫學得業士 江頭富雄

諸建築 ペンキ塗請負業 渡部正美（電話一一八二番）

氷、アイスクリーム 特にアイスクリームは原料を精選し頗る好味に有之候間多少に不拘出前も仕り候間御用仰付被下度候 京城南山町三丁目 川西商店隣 ビヤホール 電話一一二九番

第九期決算報告

貸借對照表

負債

資本金	一五〇、〇〇〇・〇〇
政府貸下金	二八六、六〇〇・〇〇
貨幣整理資金貸下金	一〇、〇〇〇・〇〇
仁川金融資金貸下金	六〇、〇〇〇・〇〇
積立金	三八、五〇〇・〇〇
別途積立金	七、五〇〇・〇〇
建物消却積立金	三、五〇〇・〇〇
職員積立金	二、一八六・九三
未支拂配當金	五四・五五
寄託品競賣金	四六・三一
未徑勘定	五〇七・五六
假受金	五〇・〇〇
前期推積金	五、八九〇・五三
當期純益金	九、一五〇・四九
合計	五七三、九八六・三七

資産

未拂納株金	九〇、四五〇・〇〇
貸付金	一九七、四一三・八一
割引手形	一九、七五八・〇〇
有價證券	五、八〇五・〇〇
任金	八三、五二二・〇六
別段任金	二、一八六・九三
保稅貨物取扱資金	一、六三九・五三
建物	一九、六七二・八〇
倉庫	九八、五八七・二九
土地	一二、九四五・〇六
什器	三、九三四・七三
滯貸整理勘定	一六、八九五・四六
典執物流込物件	一、五〇九・〇〇
保證金	三〇・〇〇
假拂金	一、九〇四・九八
金銀在高	七、七三一・七二
合計	五七三、九八六・三七

損益勘定

一金一萬四千六百五十圓九十七錢 本社當期總益金
一金一万五千百七十六圓三十八錢 各出張所當期總益金
一金五千八百九十圓五十三錢 前期推移金
合計金三万五千七百十七圓八十八錢
內
金一萬二千二百十九圓四十七錢 本社當期總損金
金八千四百五十七圓三十九錢 各出張所當期總損金
小計金二萬〇六百七十六圓八十六錢
差引金一萬五千〇四十一圓〇二錢 當期純益金

此配當計算左の如し

金三千五百圓 積立金
金一千圓 建物消却積立金
金二千圓 別途積立金
金一千八百九圓（年一割二分）配當金
金四百五十七圓 任員賞與金
金六千二百七十五圓二錢 後期推移金

隆熙四年六月三十日

漢城共同倉庫株式會社

社長 趙鎭泰
理事 崔思永
理事 成文永
支配人 林慶太郎

前記の各項調査を了して其正確なる事を保證す

監事 白完爀

人相骨相●歸納的推理の一科學性情銳鈍能否其他相對絕對の全運命を豫斷す易●萬世不易の大經也洽く人事の煩數を斷決す 眞理推斷 京城本町五丁目 三一館 通信判斷 易一圓特別二圓 年齡事項目要 人相二圓特別五圓 年齡寫眞要

入院隨意
中島醫院
京城壽町三丁目(電話三七八番)
院主醫學得業士 中島貞信

滋養 高等 牛乳 強壯
韓國畜産株式會社
南大門外 電話八八番

●滋養と牛乳●
馬車配達
純良 牛乳
京城東四軒町 岡野牧場 電話壹六〇九番
●衛生と消毒●

夏の和樂園
御料理 席貸
高田家
電九三七
不相變御引立之程乞

蜂印香竄葡萄酒
本品は日本の標準葡萄酒として内外大博覽會より二十四個の金銀賞牌を受領せり

東京 近藤利兵衛

東京 足袋

本店東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋 藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ

正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

きゝめのある温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひせん、梅毒、りん病、よこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せんき、膓胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を併用すれば尤も効能あり
貸席
京城本町一丁目郵便局前
鐵冷温泉
電話千四百十一番

特約販賣 自製
大上商店
味噌醤油製造元 漬物問屋
京城本町五丁目
ビール 新茶 大賣出し
(電話二五一番)

韓國銀行
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外預金貸金爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候

支店出張所
仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、安東縣、新義州、

爲替取引先
日本 東京、京都、大阪、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新、大阪町、大坂西區、松山、廣島、長崎、
韓國 公州、光州、晋州、全州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、義州、咸興、
清國 大連、遼陽、旅順口、奉天、鐵嶺、長春、牛莊、天津、北京、漢口、上海、
其他外國 香港、桑港、紐育、龍動、巴里、里昂、

印刷と紙
諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本
諸官衙御用
播本(ハリモト)商店
京城本町六丁目 電話百拾番

本院は毎日(日曜及祭日を除く外)午前九時より午後四時迄各專門醫に診療を依頼す
但松村先生の診療時間は午前九時より正午迄とす
和田先生の診療時間は午後二時より
京城居留民團囑託
龍山榮町文平山麓
龍山醫院
(電話六〇三)

株式會社韓國代理店
關戸蚊帳
呉服 太物 洋反 蒲團 調進
京城明治町一丁目
唐川商店
新案特許製綿韓國一手特約店
電話二六一番

無比勉強
かや わた

資本金一千萬圓
運送上保險株式會社
京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九番
●事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

營業科目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類
委託販賣
東京ランバーゾ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
藤田合名會社
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約
大日本圖書株式會社特約
本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所 東京橋南新橋一町目 東京地電話 新橋三六九十二番
雜貨衛生

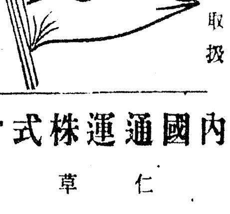
★株式會社百三十銀行京城支店
電話五十八番
振替貯金韓國一一三番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、神戸、兵庫、京都、西陣、堺、伏見、郡山、奈良、八木、田原本、高田、貝塚、岸和田、下市、茨木、平野、住吉、御影
東海道 東京、横濱、大磯、靜岡、甲府、津、岡崎、濱松、半田、桑名、名古屋、熱田、四日市、山田、松阪、千葉
東山道 彦根、大津、八幡、長濱、多治見、大垣、岐阜、中津、宇都宮、高崎、伊勢崎、前橋、若松、福島、酒田、能代、七崎、青森、仙台、
北陸道 金澤、小濱、敦賀、福井、鯖江、大聖寺、高岡、富山、伏木、新潟
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豊岡、鳥取、米子、境、松江、八手、大田
山陽道 姫路、龍野、網干、岩見、西大寺、岡山、味野、牛窓、玉島、笠岡、鞆、倉敷、高梁、尾の道、福山、府中、三原、廣島、呉、小郡、岩國、柳井、平生、防府、山口、德山、萩、長府、小月、下之關、
南海道 和歌山、田邊、御坊、新宮、尾鷲、串本、高松、坂出、豐濱、川之石、今治、西條、松山、三津ヶ濱、州本、八幡濱、宇和島、高知、德島、撫養
西海道 門司、福岡、博多、直方、飯塚佐伯、大分、別府、臼杵、長洲、長崎、佐世保、唐津、佐賀、若津、牛津、伊萬里、久留米、熊本、鹿兒島、坪井、宮崎、
北海道 小樽、函館、
台灣 臺北、臺南、
樺太 太泊、
韓國 仁川、釜山、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、羅州、晋州、馬山、向州、大邱
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

[illegible]

入院隨意
內外科病院
小兒病
梅毒淋病
京城壽町三丁目
高井醫院
電話(二一六)
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾六萬圓
京城南大門通
株式會社十八銀行京城支店
(電話四二〇)
本店 長崎市築町
支店出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
日本 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國 本日
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢二厘)
長崎貯蓄銀行代理店
(十八銀行京城支店)

內國通運株式會社
貨物運送取扱
關稅貨物取扱
危險擔保附運送品
代金付貨物運送
貨物引換證發行



京城支店 京城南大門驛前 電話七〇八番 電話一七九番
仁川出張所 仁川驛前 電話五一一番
釜山出張所 草梁驛前 釜山驛前電話六一六番 草梁驛前電話五三七番
龍山出張所 龍山驛構內 電話二〇六番

●京城市內の御注文は遠近に不拘早速持參可仕候●
概略營業品目
和洋帳簿 諸紙類
文房具 學校用品
卷紙封筒 手帳類
帽子洋傘 クツ鞄
洋服附屬品一式
メリヤス類一式
毛布膝掛 馬車掛
石鹼香水 歯磨類
タオル、ハンカチフ 手袋沓下 袋物類
正札 一 引なし
官衙、陸軍 銀行、會社 御用達
京城本町四丁目
池田長兵衛
電話二百〇六番
和洋雜貨 卸小賣商
●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候●

京城相生町南門湯横 (電話一二九四番)
自午前八時 至午後九時
京城梅毒病院
●花柳病專門 附、痔疾一般
●入院隨意●
院長 醫學得業士 蘆田耕平

資本金 一千萬圓
積立金 五百七十五萬圓
株式會社第一銀行京城支店
京城南山三丁目
明治六年設立
電話 一一番 六一一番
振替貯金口座韓國一一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

登錄商標
天下一品
清酢飛梅印
釀造元 尾道市 野間直兵衛
特約店
京城本町四丁目 前田商店 電話一三七番
同五丁目 大上商店 電話二五一番